

## 2025年 社長年頭挨拶(要旨)

明けましておめでとうございます。年頭にあたり新たな決意と共にご挨拶させていただきます。

### 1. 昨年の振り返り

昨年は、新たに2024-26年度中期経営計画を策定し、劇的な変化が続く中でも「世のため、人のため」「仲間のため」にお役に立ち続けるプロ集団として、全員が変わる3年間にすることを誓いました。その一方で、なぜ我々は変わらなければならないのか。腹落ちしていない人のためにも改めて全員で方向性を合わせ、その課題に取り組む必要性があります。

### 2. 変革の必要性

我々を取り巻く経営環境は日々変化しています。例えば自動車業界でも、BEV一辺倒ではなく、マルチパスウェイの重要性があらためて認識されはじめています。しかしながらこの状況がこの先も続くのかは誰にも分かりません。重要なことは変化に迅速に対応できるかどうか、キーワードは、「多様化」です。

「多様化」するお客様のニーズに速やかに対応し、当社だからこそお役に立てる製品・サービスをタイムリーに提供できるかが勝負になります。もちろん、安全、品質第一の再徹底や、現地現物、自工程完結をベースにしたモノづくり力のさらなる向上が大前提です。我々は、いかなる変化にも対応しつつ豊かな社会に貢献し続け、そして、事業の方向性がステークホルダーの皆様の期待に応えられているかを自問しながら、全員で変革を遂げていくことが必要です。

### 3. 2025年の取り組み

- (1) 「安全」「品質」最優先 + 後戻りしない「自工程完結」のモノづくり
- (2) 「年計」、「中計」などのお約束を守り続けることで「年輪的成長」を実現
- (3) 「もっと良い会社づくり」のためにリーダーが考え動く

私たちが常に取り組むべきことは「お客様が何にお困りか」、「その解決には、どんな素材・技術・部品が必要か」を全員で考え抜き、より迅速に、良品廉価な製品・サービスを提供し続けることです。そのためにも、安全・品質を第一に足元を固めつつ、どうお役に立っていくのかの成長戦略のもと、年計・中計の達成および30年ビジョンの実現に向けて取り組んでまいります。

### 4. 社員の皆さんにお願いしたいこと

まずは何よりも、自分自身が変化を理解し、変化に合わせて「変わる」ことです。一人ひとりが変革のリーダーとなり、チームを変革していきましょう。私たち経営層も、社員全員が明るい未来を共有し、皆さんの頑張りを確実に年輪的成長につなげていこう、全力で汗をかいてまいります。成長戦略の実現に本気で取り組み、愛知製鋼だからこそできる新たな価値を創造し続けることで、ステークホルダーの皆様の期待に応えながら、持続的成長を実現していきましょう。